総務・企画・公室常任委員会資料４
令 和 ７ 年（2025年）３ 月 11日
知 事 公 室 防 災 危 機 管 理 局

自治会等で管理している消火栓器具の盗難の状況について

１．主な盗難物品について

・消火栓ホース格納箱に保管されていた、消火栓と接続する「スタンドパイプ」、消防ホースの先端に接続する「筒先」が被害

※設置・管理者：自治会や自主防災組織等

筒先

スタンドパイプ

２．被害の状況

（１）県内消火栓器具の盗難被害状況（県警調べ：令和６年１月～12 月の暫定値）

市町別認知件数		被害額（円）
大津市	34	708,000
草津市	32	479,000
栗東市	13	264,000
守山市	20	1,128,000
野洲市	9	205,000
甲賀市	13	269,000
東近江市	1	2,000
米原市	1	20,000
高島市	1	20,000
計	124	3,095,000

（２）盗難に遭った状況等

・消火栓器具は火災発見時に速やかに使用しなければならないため、消火栓ホース格納箱には施錠機能が無く、被害に遭ったもの

・全国的にも同様の盗難が発生しており、滋賀県では特に大津・湖南地域で多くの被害が発生

３．市町の対応

・一部の市町では、盗難された消火器具について、設置管理者に現物支給または購入費用の一部を補助

・設置管理者に対し、定期的な確認や見回りを注意喚起

【参考】消火栓ホース格納箱について

〇格納箱の概要

・消火活動のために使用する「消火栓ホース」、「スタンドパイプ」、「消火栓開閉器」、「筒先」を保管

・自治会や自主防災組織等が設置し管理

・火災発見時の使用を想定しているため施錠機能はない

（参考）火災発見時の使用方法

・「スタンドパイプ」を消火栓につなぎ、「消火栓ホース」を「スタンドパイプ」につなぐ

・「筒先」をホースにつなぐ

・放水準備ができたら、消火栓のバルブを「消火栓開閉器」により反時計回りに回す

・放水を行う